

# 善了寺ニューズ4月号

## 善了寺日記

春の嵐が猛烈に吹き荒れている今日この頃みなさんいかがお過ごしでしょうか。

平成二十二年度のお寺の活動について

先日春のお彼岸のお中日に、総代・世話人会を開かせて頂きました。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。その中で、二十二年度の活動についての会議を行いました。紙面をお借りしてみなさんにご報告申し上げます。

平成二十一年度もご門徒の皆様のご協力を頂き、寺院活動を活発に運営することが出来ました。ありがとうございました。二十二年度も変わらぬご支援ご指導の程よろしくお願い申し上げます。さて、平成二十一年度を振り返ると、年間テーマ「念仏の朋（とも）の輪を広げ、孤立をなくそう」出遇いを粗末にしない一年を「のとも、住職として、「おかげさまの一年」であったところから、感謝申し上げます。

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要ならびに第十六世成田恵門住職二十三回忌法要も台風が直撃するという悪天候の中、多くの御門徒の皆さまにお参り頂き、本当に有り難く、善了寺の歴史の重みと先人のご苦労を思わずにはおられませんでした。

善了寺の主な事業を振り返りますと、善了寺における親鸞聖人七五〇回大遠忌法要ならびに第十六世成田恵門住職二十三回忌法要記念事業や善了寺北側のガケ改修工事など大きな事業を実施した年度でもありました。善了寺も、現在進行している、戸塚駅周辺地区における区画整理事業の影響を受けます。突発的な事態にも対応しなければならぬことも多く、ご心労をおかけする中、役員の方々はじめ

門徒みなさまのお力添えに心から感謝申し上げます。七五〇回大遠忌のご法要もそうですが、この重大な時期に住職のご縁を頂いていることにあらためて、身の引き締まる思いです。

平成二十二年度は早々に、デイサービス事業が五周年を迎えます。区画整理事業もラストスパートです。時代状況をしっかりと見据えながら一歩一歩進めてまいりたいと思います。

善了寺の根本は、お念仏です。お寺とは、阿彌陀如来様の大慈悲がその活動の原動力です。「万事につきてよきことをおもいつくるは御恩なり、悪しきことだにおもい捨てたるは御恩なり。捨つるも取るもいづれもいづれも御恩なり。」（蓮如上人）我が身を振り返り、阿彌陀如来様の御恩に報い、感謝申し上げる一年をおくらせていただきたいと思います。

平成二十二年度の活動重点項目

年間テーマ

「念仏の朋（とも）の輪を広げ、孤立をなくそう」出遇いを粗末にしない一年を「

平成二十二年度重点項目

ご聴聞を大切にしよう

「大慈悲を共に聴く仲間づくりを」

「無縁社会」と言われるような時代状況の中で、いのちの絆を深めていく、阿彌陀如来様の大慈悲を共に御聴聞させて頂くご縁を深めてまいりたいと思います。

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要記念事業の展開

仏教女性会・仏教壮年会活動等の充実

広報活動の充実

今月の主なメニュー

- |          |         |
|----------|---------|
| 1, 善了寺日記 | 4, お知らせ |
| 2, 行事案内  | 5, 住職雑感 |
| 3, 門徒通信  |         |

発行責任：浄土真宗本願寺派  
善了寺住職 成田智信  
第166号  
発行日：平成22年4月1日

「地域と共にあるお寺を目指して」

「報恩感謝の地域貢献」

「無縁社会」は深刻な社会問題です。戸塚の再開発事業をきっかけに、「まち」の絆について考えるご縁を多く頂きました。地縁・血縁が崩壊し、社縁までもが失われた社会にあつて、地域とは地図上のエリアだけで考えることはできません。みほとけの大切を基盤とした、報恩感謝の人々のつながりを大切に地域にお力添えできればと思います。

「デイサービス「還る家とともに」」

「とつか応縁隊との協働」

「地域コミュニティ促進事業」

「カフェ・テラ・テラ」等との協働

「仏教文化発信事業」

平成二十二年度は、重点項目・にあるように、親鸞聖人七五〇回大遠忌直前の年として今年も記念事業を進めてまいりたいと思います。昨年度はハード面の整備を中心に行いました。具体的な内容はあらためて検討致しますが、今年はソフト面を中心に行つてまいりたいと思います。特に住職としては、引き続き昨年も成果をあげている親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を広く、多数の皆さんに知って頂くために広報活動の充実を考えております。地域コミュニケーション新聞などの地域メディアへの積極的なアプローチやホームページの充実等、模索していきたいと思います。また、今年度は、じっくりと関係づくりのできるグループワークを大切にしていきたいと思ひます。多数の方々とのご縁づくりと共に、悲しみも喜びも分かちあう仲間づくりを充実させたいと思ひます。既存の団体活動を充実させていくことを念頭に活動してまいりたいと思ひます。

重点項目・につつましても、デイサービスでは五周年を機に事業内容のさらなる成熟を目指して、日々研鑽してまいりたいと思ひます。とつか応縁隊

# 平成22年4月・5月の行事予定

戸塚区仏教会主催 お釈迦様誕生のお祝い  
**はなまつり**  
 日時 4月10日(土)  
 午前11時～出店オープン  
 慶讃法要・落語・大道芸 他  
 詳細は号外をお読み下さい。

今年も永代経をおつとめさせていただきます。お念仏のご縁を大切に、伝えてまいりましょう。

## 永代経法要

5 / 7 (金) 19時～夜の法要  
5 / 8 (土)

11時～ 法輪廟・阿弥陀堂法要  
14時～ お昼の法要

定例法話会 4 / 8 (木) 14時  
講師 本願寺布教使 白川淳敬 師  
テーマ「お釈迦様のご生涯に学ぶ」

子供会 5 / 15 (土) 10時

親鸞聖人つきまわり 4 / 16 (金) 9時

親鸞聖人つきまわり 5 / 16 (日) 9時

おみがき 4 / 28 (木) 11時

仏教女性会ふじの会  
4 / 28 (木) 13時

春のカフェ・テラ・テラ  
4 / 22 (木) 18時～20時

国際アースデイ 平和トーク  
古今亭菊千代 × 辻信一  
子ども会は、戸塚区仏教会はなまつりに参加します。

◆◆◆◆◆  
 いっぱい泣いて いっぱい笑って  
 ふれあいデイサービス「還る家とともに」  
 介護保険事業所番号 1471001428  
 毎週 月曜日～土曜日まで  
 時間帯 午前10時～午後4時  
 お気軽にご相談ください。  
 ◆◆◆◆◆

事業は、地域コミュニケーションの促進事業として、地域通貨の勉強会などを行ってゆきたいと思っています。具体的な課題として、旧東海道の開発事業が平成二十六年にむけて、具体的な工事に入ります。そのような時期だからこそ、沿道の情報交換や善了寺の景観を含めたまちづくりの動きは重要な意味を持っていると思います。

最後に「カフェ・テラ・テラ」との協働事業ですが、キャンドルナイトをはじめ、仏教文化発信事業を進めています。学生さんも年度によってかわり、世代を超えて様々な交流が生まれています。お寺に親しみをもって頂ければ、本当に素晴らしいご縁であると思います。今年度は、戸塚区仏教会はなまつりをはじめ、近隣寺院のみなさんと共に活動をおこなってまいります。

「一人いて よろこばば 二人とおもふべし

二人いてよろこばば 三人と思ふべし その一人は親鸞なり」

本当に支えてくださる尊い歌だと思っています。親鸞聖人と共に、ご門徒のみなさんと共に、お浄土への道を歩ませて頂きたいと思っています。 合掌



## 仏教女性会 ふじの会

日時  
平成21年  
4月28日(水)  
午後1時～

永代経直前  
おみがき

永代経法要の打ち合わせを致します。何卒お集まりのほどよろしく御願い申し上げます。

日時  
平成22年  
4月28日(水)  
午前11時～

昼食のご用意を致します。初めての方大歓迎です。みなでお仏具をきれいにいたしましょう。よろしくお願ひします。



平成二十二年度 永代経法要

五月七日(金) 午後七時

五月八日(土)

午前十一時～法輪廟法要

阿弥陀堂法要

お昼 おとき接待

午後一時～ご法話

光明寺前住職

北條祐勝 師

午後二時～ご法要

八日・福祉バザー開催

救援衣料活動

バザーの詳細は

最終面をご覧ください。

是非お参りください。忙しいときだからこそ、大変な時代だからこそ・・・お念仏が支えになります。「念仏は生きる力なり 苦を超える道なり」

万障お繰り合わせのうえお参りいただきますよう御願ひ申し上げます。

住職 合掌

## 住職雑感～編集後記～



あたらし年度が、始まりました。皆さんそれぞれに、新しい気持ちで出発されることだと思えます。今年度もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

顕慈が中学二年生・めぐみが小学校五年生・信慈が小学校二年生になります。早いものです。おかげさまで。

気づかれた方もいると思いますが、お彼岸前に親鸞聖人七五〇回大遠忌法要記念事業として本堂および庫裡の外壁の塗装を新しくさせて頂いていただきました。是非きれいなったご本堂にお参りください。

今年もご門徒の皆さんと共に念仏中心に歩んでまいります。どうぞよろしくお願ひもつしあげます。

門徒通信

涅槃西風沖より暮色寄せて来し

鎌倉 山本照子

梅散るや親鸞さまのみほとりに

矢部町 金子育代

ご投稿ありがとうございます。一回一回の重みと大切さを思います。どうぞお体を充分にご自愛頂き、またの投稿をお待ちしております。

住職 合掌

## 救援衣料活動ご協力のお願い

毎年恒例になりました。救援衣料活動を今年も行いたいと思います。世界にはなんと多くの悲劇があふれていることでありましょう。私達にできることはほんのわずかなのかもしれませんが・・・それでも、できることから始めましょう。

一枚の衣料が、物資だけではなく、私たちの思いや願いを運んでくれると思うからです。続けること・・・ほんの小さな一歩でも、伝え続けていくことそれが、必ず誰かのところをあたたくしていると思うのです。

阿弥陀様は、いつでもどこでも、この私に、語りかけてくださいます。「我にまかせよ必ず救う・・・」全ての人々にかかっている願いを頂きながら今年もどうぞご協力ください。

### 受け入れ可能品目

新品の下着、パジャマ、タオル、タオルケット、シーツ

洗濯済みの毛布、ズボン、Tシャツ、ポロシャツ、トレーナー、セーター、ジャンパー、コート等

### 受け入れない物

スーツ、スカート、ワンピース、和服、布団、ベビー服、小物類(ネクタイ・ベルト・帽子・手袋等)、衣類以外の物(くつ、かばん、雑貨、文具など)

受付期間 5/1(土)～8日(土)まで  
お寺にお持ちください